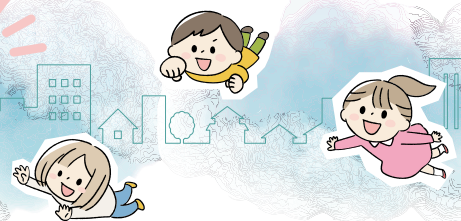




まちの話 題



11月20日[Thu]

全国・九州中学校駅伝大会壮行会



▲全国大会4年連続出場を決めた東原岸倉中央校女子駅伝チームのみなさん

女子第38回佐賀県中学校駅伝大会において東原岸倉中央校女子駅伝チームが優勝し、11月20日(木)、市役所で九州・全国大会へ向けた壮行会を行いました。

九州・全国大会に向けて主将の八島ほのかさんは「たくさんの応援ありがとうございました。九州大会では全員が自己ベストを出すことを目標にします。また、12月に行われる全国大会では、20位台を目標にし、最後まで諦めずにたすきを繋ぎます」と決意表明をしました。

迎えた12月14日(日)の全国中学校駅伝大会では29位と力走。これからの活躍にも期待が膨らみます。



11月21日[Fri]

義務教育学校9年生へ合格祈願米寄贈



▲受験生の合格を願う宮崎社長(右から3人目)と香月市長(右から4人目)

株式会社JA食糧さが(本社：北多久町)から高校受験を控える市内3校の義務教育学校の9年生(141人)へ学業成就・合格祈願の「合格祈願米(合格びより、合格の夢、合格の光)」が贈られました。寄贈いただくのは今回で5回目です。

宮崎第五郎代表取締役社長は「これから9年生は受験本番を迎えられますが、この合格祈願米を食べて、全員が希望の進路に進めるようお祈りしております」と子どもたちへエールを送りました。香月正則市長は「多久市の子どものために寄贈していただきましてありがとうございます。子どもたちが自分の決めた道にまっすぐ進んでいけるよう市としてもサポートしてまいります」とお礼の言葉を述べました。

11月28日[Fri]

西九州大学、西九州大学短期大学部と 佐賀県立多久高等学校と多久市とが連携協定を結びました



▲(右から)西九州大学の児玉浩明学長、短期大学部の福元裕二学長、多久高校の大島安博校長、香月正則多久市長

西九州大学と西九州大学短期大学部、佐賀県立多久高等学校、多久市は教育・福祉・文化・まちづくりなどの分野で協力する4者包括連携協定を結びました。

今回の協定により「生徒と大学生との交流、公立佐賀中央病院での学生の看護実習、女山大根など市の特産品を使った共同レシピ開発、市が進めるウォールアートプロジェクト・ドローン物流を活用したまちづくりへの参画など」を行い人材育成、地域・学校の発展および魅力向上をめざします。

